

表 彰 者

みんな悩みは同じね!
新任自治会長研修会が
開催されました

今年度新たに就任された自治会長を対象に、「新任自治会長研修会」を6月に開催しました。3日間で4会場、計6回の研修会に、合計194名の新任自治会長の皆様にご参加いただき、「相模原市の自治会の概要」や相模原市自治会連合会発行の「自治会活動の手引き」の説明、研修会場周辺の自治会関係者による「活動事例紹介」、「グループ討議」を行いました。

日ごろの自治会活動における悩みや、自治会が抱える課題など、様々な視点から活発な意見が交わされ、新任自治会長の皆様はもとより、市連役員・理事としまして、たいへん有意義な時間を過ごすことができたものと確信しております。

今回初めて、簡単ではありますが、「ブレインストーミング」や「KJ法」について、流れやポイントを研修会資料として、配布しました。それぞれの地域で、様々な場面でリーダーとして活躍される皆様に、地域でのグループ討議の参考にご活用いただければ幸いです。

来年度も、地域の新しいリーダーの皆様に対する支援の一つとして、この研修会を開催していきたいと考えております。



各活動事例紹介

中央区会場 6月16日(土)

○虹ヶ丘自主防災隊『独立自主防災隊の設立にあたって』(午前・午後)
自治会の役員とは独立したメンバーによる自主防災隊の設立時の活動について聞きました。「阪神淡路大震災では、約8割の人が近隣の力で救出されたそうです。『いざ』という時は、地域(近所)の力がとても重要!災害発生時は、行政、消防には頼れない、助けられたり助けたり、皆で助け合いましょう!」という言葉で締めくくられました。

(参加者の意見・感想)
・本場に役に立つ防災組織を真剣に考えていることが伝わってきました。
・役員が変わっても防災活動ができるようなマニュアル作りを考えています。



南区会場 6月23日(土)

○麻溝地区自治会連合会『麻溝地区における防災対策』(午前)
麻溝地区連合自主防災隊主催の防災訓練や昨年作成した防災マップ、防災協議会の設立について聞きました。防災マップの裏面は防災ガイドになっていて、自治会未加入世帯にも配布し自治会加入促進を図っており、マップには「あなたも地域の一員!自治会に加入して災害に強いまちづくりを一緒に作りましょう」のメッセージがありました。

(参加者の意見・感想)
・これだけの取組みを行う熱意に感心します。
・とても良い事例でした。これからの対応が大変だと思いました。



○自治会法人相武台団地連合自治会『災害時要援護者避難支援事業』(午後)
地域の援護が必要な人を把握し、ボランティアを募集し、担当者を決め、第2回説明会や要援護者とボランティアの顔合わせ等を行った6日後に、東日本大震災が発生。ボランティアは即活動を行い、ボランティアの顔を見て災害時要援護者の皆さんが安心したこと等、災害時要援護者避難支援事業の取組みについて聞きました。

(参加者の意見・感想)
・ボランティアなどの共助体制、行政に頼らず独自の活動が良い。
・高齢者を今後いかに自治会活動の中で支援していくかが問題



緑区会場 6月24日(日)

○阿津自治会『年間行事における特色ある取組みと今後の課題』(午前・午後)
様々な年間行事や、特色ある取組みとして「夜間防災訓練」「地域座談会の開催」、「高齢者世帯の継続加入」「未加入世帯に対する加入促進」など、今後の課題と課題解決への取組みについて聞きました。

(参加者の意見・感想)
・特色ある取組みと今後の課題は、実態・現状を素直に反映したもので価値が高いと思う。
・草刈り等の作業回数と、その参加者が多いことに驚きました。



グループ討議の発表内容

(一部抜粋)

○「会員が自治会に求めているものについて」
防犯(空き家問題)、防災、

・子ども会には入るが自治会には入らない人がいる。子ども会にも自治会から助成金が出ているので、入ってもらいたい。
・役員は大変だと考えない(言わない)で楽しもう。
・地域としても不動産業者などを巻き込んで、新規加入へ働きかけよう。
・自治会長も営業マンになろう。
・自治会長の役割として、問題点を会員から聞いて解決していこう。
・自治会未加入世帯に対しても夏祭りなど地域行事へ誘ってみよう。
・身近な安全安心な「コミュニティ」を作ろう。

・さまざまな活動の内容を、自治会自らが積極的に情報発信しよう。
参加者の感想
(アンケートから)
○最近では珍しく、楽しく、ユニークな話を聞くことができて楽しかった。
○自分の自治会と同じ意見が多かった。
○他の自治会の会長と意見交換が図れて良かった。
○各自治会が全て異なっていることが分かり良かった。
○参加前は疑問だったが参加して得るものが多かった。
○会長の任期が1年では問題点を解決するには短く、いつまでも同じ問題が地域に残ってしまう。
○任期1年は良くないという考えもあるが、会長になって初めて知ることもあるので、経験しその後も還元していければ良いと思う。



○「自治会加入率を上げるには?」
・役員になりたくない、自治会加入のメリットがない。



平成24年度定期総会が
開催されました

6月2日(土)、午後1時30分から、けやき会館で各地区から選出された委員が出席し、平成24年度定期総会が開催されました。(出席68名、委任状提出33名)

来賓としてご出席いただいた加山市長、中村市議会議長及び戸塚市社会福祉協議会会長からの祝辞のあと、荒川委員(東林地区)及び落合委員(津久井地区)が議長に選出されました。委員からは、「自治会大会の出席者が少ないので、参加者を増やす努力が必要ではないか」「被災地のガレキの受入れについて個人的には受け入れるべきだと考えているが自治会連合会としては、どう考えていくのか」など、委員の熱心な討議の結果、次の議案・報告が可決・承認されました。

- 議案
- ①平成23年度事業結果報告
 - ②平成23年度収支決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成24年度事業計画
 - ⑤平成24年度収支予算

私達が、平成24年度相模原市
自治会連合会役員・理事です。
よろしく願います。

理事 有泉 健一
大野南地区自治会連合会会長

会長 田所 昌訓
清新地区自治会連合会会長



理事 長谷川 光義
上溝地区自治会連合会会長

副会長 金子 匡甫
横山地区自治会連合会会長



理事 追切 睦廣
麻溝地区自治会連合会会長

副会長 小野沢良雄
中央地区自治会連合会会長



理事 坂本 堯則
相模台地区自治会連合会会長

会 計 平林 清
星が丘地区自治会連合会会長



理事 佐藤あつ子
相武台地区自治会連合会会長

監事 八木 次夫
橋本地区自治会連合会会長



理事 水戸 隆
城山地区自治会連合会会長

監事 岡田 茂利
大野北地区自治会連合会会長



理事 澤塚 正史
相模湖地区自治会連合会会長

理事 武井 弘吉
大野中地区自治会連合会会長



理事 小林 満
藤野地区自治会連合会会長

理事 矢沢 静雄
小山地区自治会連合会会長



理事 武井 弘吉
小山地区自治会連合会会長

第3回 緑区 ① 橋本・大沢地区



みんなで行こう 憩いの場!!

各区の見所紹介

次回も緑区です



9 下水道碑(上松並公園)
10 竣工記念碑(上ノ原公園)
11 歓迎碑(二本松子どもセンター)
12 竣工記念碑(日枝前公園) **13 二本松**
地名にもなった二本松が立っているこの周りには、さまざまな碑も立っていて、碑を見ていると知らなかった歴史に触れ、新しい発見に繋がるかも…今の二本松は、初代のもではありませんが、同じところに二本松を残そうとする皆さんの地域への愛が感じられます。

4 相模川自然の村その周辺(ビレッジ若あゆ・清流の里・古民家園・上大島キャンプ場など)
相模川の豊かな自然を全身で感じることができ、春は桜の見所で紹介もされます。清流の里のレストランで昼食をいただき、組みひもやストラップ、お菓子などのさがみはらグッズがいろいろあったので、サブレを買ってきました。ロビーでは、作品展が開催されていました。



8 笹野家の長屋門(市登録有形文化財)
長屋門は自分の屋敷の周囲に、家臣などのための長屋を建て、その一部に門を開いて、一棟とした物が長屋門の始まりで、その後、広く利用されるようになり、明治以後は富農の家屋敷にも作られるようになったそうです。この門は、桁行6.5間(約11.8m)、梁行2間(約3.6m)、軒高12尺(約3.6m)で、中規模の長屋門です。私達は見学できて良かったですが、保存し続けるのは大変だろうなと思いました。

ヤツボ ① 古清水 ② 水場 ③ 中ノ郷
段丘崖から湧き出る水を溜め、生活用水として利用していた「ヤツボ」は、水が冷たくとても気持ちが良い場所で、竹林や木々に囲まれていると、ハイキングに来ているようでした。思わず野菜を買ってしまいました。大島では、溜まりが壺状の形で、8つあることから「八壺」と言うようになったそうです。



5 下九沢分水池
横浜・川崎市の飲み水などの上水道のほか工業用水にも使われている水は、ここから送られていることを知りました。初めて見ましたが、円形分水で、大きくて、おもしろいカチをしていました。

7 相模原市北公園・北総合体育館・北の丘センター
緑豊かな園内は、早春の梅、初夏のアジサイなど、花の名所として皆さんに親しまれています。自治会でバスを借りて訪れた時は、皆さん本当に喜んでくれました。隣の体育館にはトレーニングルーム、またその隣の北の丘センターにはプール、各施設では、さまざまな教室も開催していて、気軽にスポーツ・レクリエーションも楽しめます。



6 六地藏
地名にもなったお地藏さまが、道行く人や車を静かに見守っているようです。その昔は、甲州(山梨県)の商人が久保沢を経て横須に生糸を運び重要街道だったそうです。

14 ソレイユさがみ(男女共同参画推進センター)
女性も男性も活き活きと暮らせる社会を目指す拠点として、講座やイベントの開催、女性の悩み相談などを行っているほか、会議や料理などのための各種セミナールームの貸出や図書・DVDの貸出のほか、学習や交流のために気軽に利用できるオープンスペースもあります。



15 インナーガーデン(ミウイ5階)
駅ビルの中の緑に囲まれた空間で、クリスマスシーズンには、大きなツリーも飾られ、日々大勢の人が利用しています。すぐ上には橋本図書館、その上には杜のホールと、情報の収集や文化活動にも触れることができるエリアです。



◎：外からの見学はできますが、敷地内に立ち入ることはできません。
★：緑区ウォーキング・マイレージのコースにも入っています。緑区ウォーキング・マイレージについては、緑区役所地域政策課(電話042-775-8801)にお問い合わせください。

相模原市には、ずっとお住まいですか?
出身は群馬県ですが、転勤で昭和33年に引っ越してきました。その後はずっと相模原市に住んでいます。
森田さんといえばサッカーですが、何歳ぐらいから始めたのですか?
最初は、野球少年でした。中学生の時に肩を痛めてしまったので、高校へ入学した時に友達に半強制的にサッカー部に入れられ、以来サッカーのとりこになりました。
活動していて印象に残っていることは何ですか?
そうですね、いろいろありますが、やはりサッカー協会設立時のことです。引っ越してきた時は、サッカー協会も無く、民間チームも分からなかったのですが、しばらく野球をしていましたが、昭和43年のメキシコオリンピックで日本が銅メダルを取ったことで、サッカーブームになり、希望者も多かったので職場のチームを作りました。協会設立願の署名を集め、当時



森田さん

この欄では、各界でご活躍されている方をご紹介しておりますが、今回は、橋本地区にお住まいの「森田之雄」さんです。
森田さんは、「特定非営利活動法人相模原市サッカー協会」の会長であるとともに、「公益社団法人相模原市体育協会」の会長としても活躍しています。今回は、橋本の森田さんのお話をお伺いしました。
様々な活動をするうえで重要なことは何ですか?
ゆめと情熱と責任感ですね。子どもも大人も、スポーツ活動を通じて、技術だけでなく人間として成長していきます。活動するための環境づくりは、行政の理解と協力も必要ですが、各チームや協会の役員、コーチ、保護者の皆さんの日々の活動が重要だと思っています。
今後の抱負は?
スポーツには「するスポーツ」「見るスポーツ」「支えるスポーツ」があると三つに分かれています。「自分が住むまち」の選手やチームを支えることは、地域の活性化にも繋がっていると思います。「支えるスポーツ」も普及していきたいと思っています。また、生涯を通じてスポーツに係わり、地域で生き生きと暮らしていくためにも高齢化社会に対応したスポーツプログラムが必要だと思っています。

人物紹介

大船渡に行つて
印象に残ったこと、
思うこと

今年の市自治会連合会視察研修会は、6月27日の夜に相模原市を出発し、2泊3日(車中1泊)の日程で銀河連邦の友好都市である大船渡市へ行ってきました。

大船渡市は、東日本大震災の被災地であるため、復興・復旧の邪魔になつては申し訳ないと思いましたが、快く受け入れていただきました。

1日目は、「3・11東日本大震災の教訓」と題して、前赤崎地区公民館長(当時の赤崎地区自主防災組織連合会長)の講話及び意見交換、次に大船渡市復興政策課に派遣されている相模原市職員から「被災・復興状況について」の説明を受けた後、被災の現場を訪問、その後大船渡市役所に戻り、戸田市長にチャリティーボウリングの支援金や各地域からの支援金をお渡ししました。

2日目は、被災した陸前高田市役所周辺や奇跡の一本松などを視察し、帰路につきました。

戸田市長からは、震災の2日後の朝、大船渡市役所の駐車場で、応援物資を積んだ相模原市のトラックを見たときの感動した思いなどいろいろなお話をお聞きしました。

大船渡市では、地区ごとに公民館費を徴収し、相模原市の自治会活動と同じような活動をしているようでした。



「被災・復興状況について」の説明に聞き入る



大船渡市長
戸田 公明

相模原市の皆様におかれましては、昨年の大震災以来、物心両面にわたり多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今、市内では、被災した事業所や店舗の再開、仮設商店街・飲食店街が賑わいを見せている中、高台移転地や災害公営

田所 昌訓会長(田名)

赤崎地区を訪問し、震災直後からの避難所運営のお話を聞き、改めて地域と絆の大切さを教えられました。特に、孤立から開放され支援が軌道に乗るまで、地域活動に関わられた方々の役割が決められた、避難所での生活に対しての協力体制が短時間で出来たのは、日頃の地域活動があったればこそとの思いを強くしました。

有泉 健一理事(大野南)

前赤崎地区公民館長さんの話の中で、普段から隣近所のコミュニケーションが大切だという話に同感しました。日常の付き合いが避難所生活では非常に役立つとのことでした。

津波被害の実態を見てあらためて巨大地震の恐ろしさを痛感した。被害を受けた中でも、平時の防災対策の徹底により、最小限の被害に治めた地域もあり、平時の防災活動の重要さを認識した。我々の地域で予測される災害は火災であり、自主独立防災隊による初期消火体制づくりが重要である。この活動を更に広めていきたい。

平林 清会計(光が丘)

津波被害の実態を見てあらためて巨大地震の恐ろしさを痛感した。被害を受けた中でも、平時の防災対策の徹底により、最小限の被害に治めた地域もあり、平時の防災活動の重要さを認識した。我々の地域で予測される災害は火災であり、自主独立防災隊による初期消火体制づくりが重要である。この活動を更に広めていきたい。



避難所のお話に聞き入る

澤塚 正史理事(相模湖)

当時の赤崎地区自主防災組織連合会長から聞いた地震発生から津波で家屋が流されていく有様、その状況下で地域住民がどのように避難したのか、避難所設置や管理・運営、



越喜来小学校体育館

住宅の整備をはじめ土地区画整理事業など、復旧・復興に向けた動きが本格化しています。復興までの道のりは遠く険しいものがありますが、皆様のご支援、励ましを力に、将来に夢と希望を持ち、一日も早い復興に向け市民一丸となつて取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

結ぶに、皆様のますますのご活躍とご多幸、並びに貴連

水戸 隆理事(城山)

前赤崎地区公民館長の災害緊急時のリーダーシップは素晴らしい。各地区の情報の共有化や緊急被害対策を組織化し手作りの腕章で緊急委嘱。避難所運営にあたり、みんな

武井 弘吉理事(小山)

東日本大震災は、大津波災害である。大船渡市の例から見ても、津波が到達しなかった地域の被害はほとんどない。避難訓練を実施している地域と何もしていない地域との人的被害の差が大きい。そして何よりも、全体的に津波対策が殆ど実施されていないことが、被害を大きくし、原発事故も津波被害による二次電源喪失が原因だ。

小野沢良雄副会長(津久井)

1年3ヶ月が経過した被災地を訪れ、建物や立ち木等の全てが濁流に吞まれた光景から荒野を想像したが、ガレキは一部処理され、屋敷跡や田畑に草木が生い茂り、時の流れ、自然界の育みを感じた。少しずつ明日に向けた希望の営みが期待された。災害は何時何処で発生するかわからない。想定外の出来事を予測し、平時から準備・訓練を!

岡田 茂利監事(新磯)

泊まったホテルが、周囲に何も無い場所にボツンとあったこと。周辺の地盤沈下の影響で、道路がかさ上げされていたこと。ホテル前に無人のスーパーがあり、壁面に「災害は忘れた頃にやってくる。昭和35年5月24日チリ地震津波水位表5.3m」のパネルが埋め込まれていたこと。50年前の教訓がいていたか。

小林 満理事(藤野)

土台だけの市街地、ぼつんと残った学校の校舎など、災害の凄まじさ、自然の猛威を直に感じました。避難所運営について、整然と秩序を保って運営ができたことや、普段



8月に開催された「盛町灯ろう七夕まつり」の様子

合会のご発展を衷心よりお祈り申し上げます。

からの防災訓練が役に立ったこと等の話があり、参考になることが多くありました。今後も復興に向け、我々にできることを行いたいと思います。



赤崎地区公民館周辺

追切 睦廣理事(麻溝)

大船渡、陸前高田や海岸地帯の被災地では元の賑いを取り戻すには大変な努力が必要だと感じた。復興には地元の力だけではなく、国の迅速な援助が不可欠である。仮設住宅施設を訪ね実際に住民達の言葉を聞き復興に対する現状を聞く機会がなかった事を残念に思った。津波の強力な破壊力の前に人間の無力さを痛感した。

草野 寛理事(橋本)

陸前高田の防波堤は、くずれ重なり合っていて、海岸近くの立ち木は、波が被った所が茶色に枯れて、波の高さ、凄さを知った。人がどんなにつくしても、到底防ぐことができない自然の猛威を我々は、どうすることもできないが、唯、それに備える心の準備と日々の訓練を怠つてはいけな

金子 匡甫副会長(東林)

被災地の方から、今回の震災で、日頃の訓練と地域の助け合いが活かされたと同じ、とても印象深かった。山積み

竹田 幹夫理事(星が丘)

被災地の方から、今回の震災で、日頃の訓練と地域の助け合いが活かされたと同じ、とても印象深かった。山積み

佐藤あつ子理事(相武台)

青く穏やかな海が防波堤を破壊し、家を根こそぎ持つて

小田 正史理事(相模湖)

被災した陸前高田市市役所周辺

久保田勝志(田名)

被災した陸前高田市市役所周辺

金で、被災者を勇気付けることが必要である。

矢沢 静雄理事(大野中)

日頃マスメディアによって報道されている事を自分の目で確かめたことの意義は大きい。震災から1年3ヶ月、あの膨大なガレキの話がなかなか前に進んで行かない。考え方は人それぞれではあるが「小異を捨てて大同につく」此の事に尽きると思う「被災地の今」をしっかりと考え伝える事の必要性を痛感いたしました。

代田 昭理事(中央)

港の防潮堤破壊と小学校の校舎倒壊が激しく強く印象に残っています。また、復興・復旧が、1年3ヶ月経過したのに大変遅い様に思いました。災害発生時には、小学生を中学生が高台方向に誘導し、津波被害から身を守った話を聞き防災訓練の大切さと個人個人危機管理が必要であると認識しました。

八木 次夫監事(大沢)

今回の研修会で一番印象に残ったのは海拔0mに建つ越喜来小学校3階建て校舎の全てが津波にのみ込まれたことも児童・教職員が全員無事に避難されたことだ。この要因は設置した津波避難用非常通路での迅速な避難と日頃からの訓練が活かされたこと。この教訓は、私達の地域で防災活動を推進する為の一助となった。

金子 匡甫副会長(東林)

被災地の方から、今回の震災で、日頃の訓練と地域の助け合いが活かされたと同じ、とても印象深かった。山積み

竹田 幹夫理事(星が丘)

被災地の方から、今回の震災で、日頃の訓練と地域の助け合いが活かされたと同じ、とても印象深かった。山積み

佐藤あつ子理事(相武台)

青く穏やかな海が防波堤を破壊し、家を根こそぎ持つて

小田 正史理事(相模湖)

被災した陸前高田市市役所周辺

久保田勝志(田名)

被災した陸前高田市市役所周辺

金で、被災者を勇気付けることが必要である。

矢沢 静雄理事(大野中)

日頃マスメディアによって報道されている事を自分の目で確かめたことの意義は大きい。震災から1年3ヶ月、あの膨大なガレキの話がなかなか前に進んで行かない。考え方は人それぞれではあるが「小異を捨てて大同につく」此の事に尽きると思う「被災地の今」をしっかりと考え伝える事の必要性を痛感いたしました。

代田 昭理事(中央)

港の防潮堤破壊と小学校の校舎倒壊が激しく強く印象に残っています。また、復興・復旧が、1年3ヶ月経過したのに大変遅い様に思いました。災害発生時には、小学生を中学生が高台方向に誘導し、津波被害から身を守った話を聞き防災訓練の大切さと個人個人危機管理が必要であると認識しました。

八木 次夫監事(大沢)

今回の研修会で一番印象に残ったのは海拔0mに建つ越喜来小学校3階建て校舎の全てが津波にのみ込まれたことも児童・教職員が全員無事に避難されたことだ。この要因は設置した津波避難用非常通路での迅速な避難と日頃からの訓練が活かされたこと。この教訓は、私達の地域で防災活動を推進する為の一助となった。

金子 匡甫副会長(東林)

被災地の方から、今回の震災で、日頃の訓練と地域の助け合いが活かされたと同じ、とても印象深かった。山積み

竹田 幹夫理事(星が丘)

被災地の方から、今回の震災で、日頃の訓練と地域の助け合いが活かされたと同じ、とても印象深かった。山積み

佐藤あつ子理事(相武台)

青く穏やかな海が防波堤を破壊し、家を根こそぎ持つて

小田 正史理事(相模湖)

被災した陸前高田市市役所周辺

久保田勝志(田名)

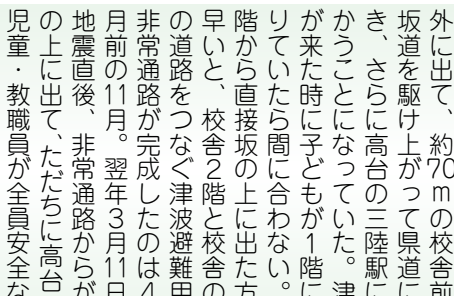
被災した陸前高田市市役所周辺

命を救った非常通路



津波避難用の非常通路

校舎の脇の県道側は、高さ約5mのがけ。従来の避難経路は、いったん1階から校舎外に出て、約70mの校舎前の坂道を駆け上がった県道に行き、さらに高台の三陸駅に向かうことになっていた。津波が来た時に子どもが1階に下りていたら間に合わない。2階から直接坂の上に出た方が早いと、校舎2階と校舎の間の道路をつなぐ津波避難用の非常通路が完成したのは4ヶ月前の11月。翌年3月11日の地震直後、非常通路からがけの上に出て、ただちに高台へ。児童・教職員が全員安全な場所に避難が完了した直後に校舎は津波にのみこまれた。



各地で見られたガレキの山



越喜来小学校校門前

ご案内とお願い

自治会報さがみはら

編集委員

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、相模原市自治会連合会事務局

042-753-3419

Email: info@sagamihara-jichin.jp

小川 政義(相模台)

久保田勝志(田名)

武田 邦雄(清新)

中山 光明(相模湖)

河本 博	有泉 健一
(大野北)	(大野南)
佐藤あつ子	澤塚 正史
(相模湖)	(相模湖)
中山 光明	石井 孝之
(大沢)	(相模湖)
武田 邦雄	笹野 賢司
(清新)	(星が丘)
久保田勝志	大木 恵
(田名)	(大野南)
小川 政義	(相模台)